

庁内と協和会協議の内容

「議事録はない」回答

6000万円)に増やしており、2019年度予算では、協和会関連への補助金が8億5213万8000円となっています。

請求内容(12月議会・一般質問)における市長答弁の内容(市立川西病院の指定管理者制度導入の経過)について

① 「2016(H28)年7月の市長指示について」市長が誰に対して指示を出し、誰が協和会の誰と何を確認したのか、回数や全ての記録と資料などについて

② 「同 12月13日の協和会からの協力依頼文書受領まで、受領後、誰が、いつ法人の誰とどのような意向確認を行ったか、全ての記録と資料などについて

③ ②を受けて、庁内内部協議は、誰がいつどのような場で行ったのか。全ての記録と資料と資料について

住民不在、市の勝手

また、2016年9月から開催された「市立川西病院事業経営改革会議」の中で、小山秀男会長が病院建設に対して「1ベッド400万円、250床で100億円」「社会医療法人が望ましい」など発言しているにも関わらず、市は1ベッド200万円と少額に見積もり、公募条件を狭め、協和会とだけ事前に協議・確認を行うなど内容の信ぴょう性・公平・公正性が崩れると共に、表

「北部の病院を残してほしい」という願いは今も切実。その声を無視、軽視して突き進むのは何故でしょうか。新病院建設の際、議会から「個室にトイレの設置の考慮を」との要望に、患者・市民本位ではなく協和会の代弁者のような拒否回答を繰り返す市の姿勢はいかがなものでしょうか。

住民福祉の増進を基本に医療格差を拡大させない取り組みこそ自治体の責務、最重要課題です。「市民の声を聴く」ということは聞きっぱなしであってはなりません。まちづくりの観点、防災・減災の観点での取り組みこそ求められています。拙速な進め方を許さず、北部の病院存続を求め、声をあげ行動しましょう。

再要請「禍根を残すな」

拒否回答を受けた委員会では再度、「利用者により良い病院環境の提供を行うよう、将来に禍根を残さないよう」要請。3月26日開催の委員会での回答がありました。

から、それぐらいの人員費は払ってもらわなければならないこと。市が勝手に予測をして「できない」と結論づける内容は、市民のための病院建設ではなく、協和会のための経営重視の考え方だと追及しました。

拒否「コスト増に」

それによると「市の予測で、無料個室にトイレ設置をすると人員増が必要で、年間1.4億円~2.5億円の経費増になる。そのリスクは市負担になるので、トイレ設置は行わない基本計画書の策定にする」と説明しました。

予算委にかけず計上

また、この日の委員会で、「市立川西病院の指定管理者の管理運営に関する平成31年度協定書(案)を市が示しましたが、新年度予算に関する内容(指定管理料の支払い、指定管理者負担金の支払い、経営評価委員会の調査、モニタリング及び市民モニター制度)を予算委員会にかけず、最終本会議終了後に説明するあり方の問題を厳しく指摘しました。

協和会黒字で対応を

私(黒田)は、協和会の収支報告によれば、新病院稼働後、3年目から毎年約2億7000万円の黒字(9年で20億6200万円の黒字)、5年目から社会医療法人化すれば非課税になるのだ

議会が軽視されている証拠です。(委員会の議事録は開示されます)

黒田みち

たんぽぽだより

NO200 (2019年4月・5月)

「5月1日の新聞報道に至るまでの詳細について」
公開をしない理由(医療法人協和会との病院整備に関する協議では、資料は使用しておらず、また議事録の作成も行っていないことから、公文書が存在しないため)
内部協議における平成29年度第2回経営会議で使用した資料及び議事録以外の公文書については、協議で使用した資料を随時更新しており、古い資料は破棄していることから、公文書が存在しないため。また、議事録の作成も行っていないことから、公文書が存在しないため

越田市長は、当初計画から98億円も増えた新病院の建設費を「見直して2億円減らした」としていますが、退職し協和会へ移籍する職員の給与差額の保証期間を3年から4年(年間2億

2億円削減というが

1「健全化判断比率の経緯と近隣の状況」で明らかのように、川西市の財政が厳しいものの、病院の資金不足比率がコントロールされていることは明らかです。

(表 1) 健全化判断比率の経緯と近隣の状況

| 川西市 (年度) | 健全化判断比率 | | |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 実質公債費比率 | 将来負担比率 | 資金不足比率 |
| | 25.0 | 350.0 | 20.0 |
| 2007(H19) | 10.1 | 186.7 | 14.9 |
| 2008(H20) | 10.7 | 170.6 | 4.0 |
| 2009(H21) | 10.9 | 163.7 | 14.6 |
| 2010(H22) | 11.0 | 159.2 | 12.6 |
| 2011(H23) | 11.4 | 160.9 | 6.6 |
| 2012(H24) | 11.7 | 152.6 | 17.9 |
| 2013(H25) | 12.3 | 147.3 | 16.0 |
| 2014(H26) | 11.9 | 133.4 | 25.8 |
| 2015(H27) | 12.2 | 114.1 | 13.8 |
| 2016(H28) | 11.8 | 99.7 | 14.0 |
| 2017(H29) | 11.4 | 106.3 | 16.9 |
| 2017(H29) | | | |
| 宝塚市 | 4.1 | 30.2 | 12.3 |
| 尼崎市 | 13.5 | 102.6 | — |
| 西宮市 | 3.2 | 18.9 | — |
| 伊丹市 | 7.1 | — | — |
| 芦屋市 | 8.3 | 90.4 | — |
| 三田市 | 7.9 | 2.7 | — |
| 池田市 | 4.7 | 15.4 | — |

目に余る「協和会優先」

「トイレ設置」拒否理由に唖然

「無料個室にもトイレを」の議会の要望に対する市の対応が市民の不信感を広げています。あまりにも協和会偏重だからです。

市立病院整備調査特別委員会が2月に全室個室で運営している病院を視察。「感染予防対策上もキセラ新病院では無料個室にもトイレが必要」との認識で一致し、議会の総意として市側に要請。市は3月6日の同委員会で「できない」と回答しました。(たんぽぽだより199号既報)

